

事業名：「JAPAN BASEを拠点とした経営基盤強化事業」

団体名：公益財団法人日本ラグビーフットボール協会

事業実施の背景・課題、目標

【背景】「JAPAN RUGBY 2050 活動指針」で掲げている中長期目標を達成するために、経営基盤の強化を図る。

ミッション： 「ラグビーが、世界一身近にある国へ」

ビジョン： 「世界のラグビーをリードし、スポーツを超えた社会変革の主体者となる」

ターゲット： 「再びワールドカップを日本に招致し、世界一になる」

- ・ ラグビーワールドカップ日本大会開催等により国内ラグビーファン拡大に一定の成果
- ・ 競技登録者数は減少傾向は継続し、高校世代はラグビー部の数及び部員数が約20年間で約4減少

【目的】 日本代表強化のためのハイパフォーマンス環境とラグビー及び地域のスポーツ普及を目的として「JAPAN BASE」を設立



- 【課題】
- ・ 現状はラグビー以外の利用は限定的で、地域のスポーツヘチーム・団体等へ利用を促すための環境・基盤が整っておらず、施設として収益性を確保できていない。
 - ・ 目指すべき姿を達成するためには、**競技登録者の維持・拡大及び収益性の向上**が必要である。

本事業における具体的な取組内容

計画№1 アジア・オセアニア地域との国際交流イベントの開催

実施期間 令和5年～令和7年（以降も継続）

取組内容 ラグビーをプレーする若年層に対し、国際交流の機会を提供することで、競技志向を高め、選手の競技継続につなげるほか、国際人材の育成につなげる。



アジア・オセアニアラグビー交流フェスタ（2023年9月9～10日）

計画№2 高校生世代の競技継続を促す大会の開催

実施期間 令和5年～令和7年（以降も継続）

取組内容 試合の機会が少ない地域のクラブチームで活動する高校生世代や部員が15人に満たないチームの高校生に交流の場を提供することで、競技の機会を増やし、選手の競技継続につなげる。

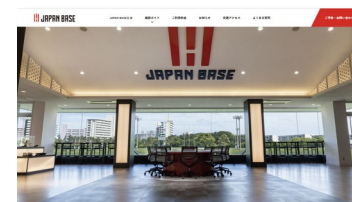


U19フレンドリーエリアマッチセブンズ（2023年11月12日）

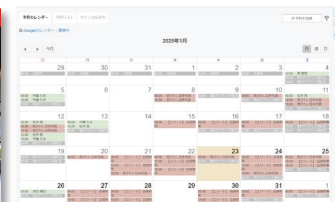
計画№3 環境基盤整備による福岡・九州地域のスポーツチーム・団体の利用促進

実施期間 令和6年～令和7年（以降も継続）

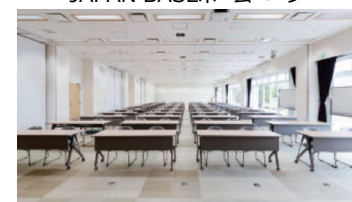
取組内容 「JAPAN BASE」の予約システム充実や利用拡大に向けた情報発信ツール等のインフラ整備、研修及びトレーニング環境の整備等により、業務効率向上及び、現状機会損失となっている施設利用を拡大することで施設としての収益性向上へつなげるほか、福岡県ラグビー協会や福岡市スポーツ協会等の地域のスポーツ団体や障がい者スポーツ団体、近隣のスポーツクラブ等との連携を深め、施設の開放利用を促すことにより地域スポーツの振興につなげる。



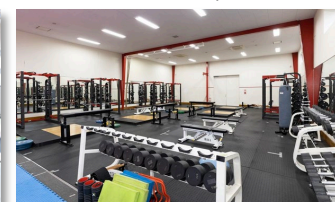
JAPAN BASEホームページ



JAPAN BASE予約システム



JAPAN BASE研修設備



JAPAN BASEトレーニング設備

計画№4 専門人材の登用

実施期間 令和6年～令和7年（以降も継続）

取組内容 普及・地域のスポーツ振興に係る外部の専門的人材を組織体制に取り込むことにより、事業目的に即した中長期的な組織・人材強化を実現する。



「いろんなラグビー楽しむ！みんなでラグビー体験！」（2023年10月16日）

計画№ 1 アジア・オセアニア地域との国際交流イベントの開催

実施期間	令和7年1月31日～2月3日（実施前）	■ 進捗・成果 参加予定数：128名 ・ 競技者参加：98名 ・ 関係者参加：約30名 ・ 参加チーム：海外3チーム、国内3チーム バングラデシュ、中華台北、タイ、 かしいヤングラガーズ（2チーム） つくしヤングラガーズ <table border="1"><tr><td rowspan="2">2月1日(土)</td><td>チーム交流会（9:00 開会式、11:30 終了）</td></tr><tr><td>7人制ラグビー交流大会（13:30 試合開始、16:00 終了）</td></tr><tr><td rowspan="2">2月2日(日)</td><td>7人制ラグビー交流大会（9:00 試合開始、12:00 終了）</td></tr><tr><td>チーム交流会（14:30 開会式、15:00 終了）</td></tr></table> ■ 課題 開催日程理由によりオセアニア地域からの参加チームが昨年度より減少している。女子チームの参加がなく交流機会が実現できなかった。	2月1日(土)	チーム交流会（9:00 開会式、11:30 終了）	7人制ラグビー交流大会（13:30 試合開始、16:00 終了）	2月2日(日)	7人制ラグビー交流大会（9:00 試合開始、12:00 終了）	チーム交流会（14:30 開会式、15:00 終了）
2月1日(土)	チーム交流会（9:00 開会式、11:30 終了）							
	7人制ラグビー交流大会（13:30 試合開始、16:00 終了）							
2月2日(日)	7人制ラグビー交流大会（9:00 試合開始、12:00 終了）							
	チーム交流会（14:30 開会式、15:00 終了）							
実施場所	JAPAN BASE福岡							
取組内容	■ アジア・オセアニア地域との国際交流イベントの開催 （アジア・オセアニアラグビー交流フェスタ） ＜参加者＞ アジアラグビー、オセアニアラグビーに所属する 各ラグビーフットボール協会から推薦を受けた選手 ＜実施内容＞ ・ 海外チームの学校訪問 ・ ラグビーを通じた国際交流（ミックスチームでのレクリエーション等） ・ 交流会（選手、保護者、指導者）等 ■ 事業に参加した選手や訪れた学校の生徒などとの継続的なタッチポイントを設定							

計画№ 2 高校生世代の競技継続を促す大会の開催

実施期間	令和6年12月1日～令和 7 年2月28日（実施前）	■ 進捗・成果 イベント競技「フレンドリーマッチ(7人制)」 （令和7年2月15日実施予定） ・ 競技参加予定数：60名 ■ 課題 学校行事とのスケジュール調整等、実施における人員の確保及び活動機会が少ないプレイヤーのニーズ把握な細かい調整が発生した。
実施場所	JAPAN BASE福岡	
取組内容	■ ラグビー部がない高校生の競技参加を促す大会の開催 （U19フレンドリーエリアマッチセブンズin福岡） ＜参加チーム＞ ・ 地域のクラブチームで活動をする高校生世代 ・ 部員が15人に満たないチーム ＜実施内容＞ ・ ラグビークリニック ・ セブンス交流試合 ■ 参加者が継続してラグビーに取り組めるよう近隣の学校やクラブを紹介するなど、ラグビー競技の継続を支援	

計画№3 環境基盤整備による福岡・九州地域のスポーツチーム・団体の利用促進

実施期間 令和6年4月1日～令和7年3月31日

実施場所 JAPAN BASE福岡

取組内容

- 施設利用のプロモーション
＜実施内容＞
 - ・HPの多言語化
 - ・館内インフォメーションの充実
 - ・研修室のAV設備の充実
 - ・研修室の事務什器の整備
 - ・予約システムの充実
 - ・練習備品の整備
- 施設メンテナンス
 - ・天然芝グラウンドの維持管理
- 福岡県ラグビー協会等の地域のスポーツ団体や障がい者スポーツ団体、近隣のスポーツクラブ等との連携を深め、競技スポーツから一般スポーツ（障害者スポーツ等も含む）まで幅広くスポーツの場として提供

■ 進捗・成果

福岡県スポーツ協会や福岡サッカー協会などの地域スポーツ団体との連携によりラグビー以外のスポーツ団体での施設サービスの認知が向上し、利用者希望団体が増加した。

- ・JRFU以外のラグビーチーム利用団体：25団体
- ・ラグビー以外のスポーツ競技団体：3団体
- ・スポーツ以外の団体：4団体
- ・有効稼働率：49%※
（有効施設稼働日の総ベッド数の利用占有率）

■ 課題

施設の稼働率向上にむけては、グラウンドや宿泊施設の利用調整や複数団体での同時利用時の運用ルールの整備、施設・設備サービスの品質管理を統合的に管理できる仕組みが必要。

計画№4 専門人材の登用

実施期間 令和6年12月1日～令和7年2月28日（実施前）

実施場所 JAPAN BASE福岡

取組内容

- スポーツの普及やチームビルディング等に係る専門人材を登用し、効果的な普及プログラムを開発し、競技参加者の拡大につなげる。
- プロモーションに係る専門人材を登用し、JAPAN BASE事業の普及啓蒙につなげる
＜実施事項＞
 - ・プロモーションマテリアルの充実
 - ・普及・研修事業の誘致・企画－
 - ・ツアー企画・誘致

■ 進捗・成果

R6年4月よりラグビーチームマネージャー経験者と業務委託契約を結び、利用者チームへの合宿誘致プロモーションなど実施

- ・ラグビーリーグワンチームの合宿誘致
- ・海外ラグビーチームの合宿誘致

■ 課題

施設利用者向けの新たな施設サービスやイベント、研修プログラムの開発促進にむけてイベント業者や旅行代理店との連携が必要

本事業の成果目標・KPIの達成状況

成果目標・KPI 1 福岡県内における競技者の維持・拡大及び国際人材の育成

- ・「アジアオセアニアラグビーフェスタ」参加者：令和5年度：150人 令和6年度：138人予定（200人目標）
- ・交流会イベント参加者アンケート：競技継続意向80%
- ・交流会イベント参加者アンケート：ラグビーを通じた国際的な価値発信への興味80%

成果目標・KPI 2 福岡県内における競技者の競技継続意向の向上

- ・イベント参加者 令和5年度：100名 令和6年度：90名予定（10%減少）
- ・大会参加者アンケート：競技継続意向80%

成果目標・KPI 3 「JAPAN BASE」の各施設の稼働率を向上させ、収入増につなげる

- ・JRFU以外の一般ラグビーチーム利用団体：令和6年度 25団体（目標6団体 400%増）
- ・ラグビー以外のスポーツ競技団体：令和6年度：3団体（目標3団体 100%）
- ・有効稼働率：令和6年度：49%（目標80% 60%達成）

令和7年度の実施予定

引き続き以下の取組み継続することにより、本事業の目的である各カテゴリーの日本代表強化のためのハイパフォーマンス事業としての活用と市民利用を中心としたラグビー及び地域のスポーツ普及のための拠点としての役割を併せ持つ事業モデルの確立と収益貢献を目指す。

【令和7年度の取組内容】	【令和7年度の改善策】
取組No.1: アジア・オセアニア地域との国際交流イベントの開催	・事業推進体制の整理 ・事業予算の精査 ・事業規模の見直し
取組No.2: 高校生世代の競技継続を促す大会の開催：	・対象生徒の洗い出し（現状の活動状況把握） ・学校行事等とのスケジュール調整 ・実施に向けた人員確保と調整
取組No.3: 環境基盤整備による福岡・九州地域のスポーツチーム・団体の利用促進	・予約管理および運用ルールの再構築 ・旅行代理店等へのセールス強化